

議会だより

日本共産党

井出 節夫 電話 八二―二七三六
小林 松子 電話 五四―二二一五
内藤 祐子 電話 六二―八七五一

日本共産党佐久市議団発行
二〇一三年六月 号外
佐久市中込滑津
電話 六二―七三二四

6月議会

市民要望の実現と柳田市政二期目の公約について質問

佐久市議会六月定例会は六月三日に開会されました。今定例会では、主に平成二五年度の補正予算が審議されます。ひまわり保育園の社会福祉法人認可に伴う予算や佐久南インター周辺整備事業計画策定経費、マイクロ水力発電施設整備、佐久市移住お試しツアーにかかる経費などが計上されました。

条例案では新型インフルエンザ等対策本部の設置に関する条例の新設があります。なお、離山南工業団地を大阪市の丸金パイプ(株)に売却する契約については初日に議決されました。

また、三日には、全国市議会議長会、北信越市議会議長会からの表彰の伝達が行なわれました。15年以上表彰は中澤兵衛議員、10年以上表彰は井出節夫議員、小林松子議員がそれぞれ受賞しました。

**代表質問は6月12日、共産党は井出節夫議員
一般質問は6月13、14日で16人が質問**

日本共産党議員の代表質問、一般質問は左記の項目、日程です。なお、一般質問の本会議は、開会時間は9時です。一人1時間以内です。質問時間により各議員の開始時間は変わります。

井出節夫議員

12日午後4時

1、柳田市長は、住みよい町・日本一を目指して5つの方針、

11の政策を掲げて2期目の当選を果たした。

市民の市政要望の第1は医療・福祉施策の充実にあるのではないかと。

- (1) いつでもどこでも安心して医療を受けられる町
ア、 福祉医療の窓口無料化について
イ、 佐久総合病院本院の本院機能について
ウ、 川西赤十字病院のインフラ整備について
エ、 国保未納世帯での医療の抑制はないかと、
佐久市の医療費が低い現状の分析はしたのか
- (2) 人口減少社会の中で子育てがしやすい町
- (3) 老後を安心して暮らせる町
ア、 特別養護老人ホームの待機者をどうみるのか
イ、 待機者解消のために特養の建設を

2、税金の使い方は、これまで通りでしょうか

- (1) 国の地方交付税特別会計の破綻について
- (2) 合併特例事業債と地方交付税の算定替特例の終了
- (3) 財政の徹底した情報公開（長期財政計画）について
- (4) パラダに計画している温泉施設は骨格ができたので市長の公約通り市民の意見を聞くべきでないか

小林松子議員

13日午後5時頃

1、福祉灯油について

(1) 平成24年度福祉灯油購入助成事業の実績と平成19年度平成20年度との比較について

2、高齢者タクシー利用助成事業の創設について

3、障害者の暮らしの場の確保について

(1) 障害者の入所施設の実態と入所状況について

(2) 高齢者共同リビングを、障害者のグループホームに、利用を変更できないか

4、TPP交渉参加について

(1) 市長公約の「産業としての農業」がTPP参加によって実現できるか

(2) TPP交渉参加の撤回を、政府に求められないか

内藤祐子議員

14日午後5時頃

1、憲法改定問題について

憲法96条、9条に対する市長の見解を伺う

2、安心安全な子育て支援について

(1) 市長の掲げる 安心安全な子育て支援の政策は、満足度の高い公園づくりとチャイルドライン。市民の要求は、お金がかかりすぎる子育てに対する支援ではないか。

(2) 40年間無認可保育所（市の家庭保育員制度適用）として未満児保育を担ってきたひまわり保育園がやっと認可園になったが、市としての評価について

ア 佐久市の待機児童、特に未満児の状況について
イ 今後の未満児対策について

3、住みよい街日本一をめざす佐久市として、障害があっても地域で当たり前暮らしらせる佐久市であるべきではないかと。

(1) 医療的ケアの必要な障がい児への支援について

ア 保育園、学校の対応状況
イ 空床利用型短期入所事業をまず浅間病院で実施を
ア 庁舎や観光施設、公園などのチェックを
イ 様々な施設案内にバリアフリー度の明記を

(3) 障害者総合支援法から介護保険法移行時の対応（65歳問題）について

ア 高齢障がい者は、介護保険優先ということになっているが、サービス項目、量、自己負担など相違があるが、どう対応しているのか。